

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的に関する規定である。

☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ ☐ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 能率的
2. 合理的
3. 適正
4. 有効

〔2〕 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 無期限
2. 5年
3. 4年
4. 3年

〔3〕 次の記述は、船舶に設置する無線航行のためのレーダー(総務大臣が告示するものを除く。)の条件に関する無線設備規則の規定である。☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「その船舶の航行の安全を図るために必要な音声その他の音響の聴取に妨げとならない程度に ☐ が少ないものであること。」

1. 騒音
2. 内部雑音
3. 機械的雑音
4. 電氣的雑音

〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときにとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 発見した免許証を速やかに廃棄する。
2. 発見した日から10日以内にその旨を届け出る。
3. 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を返納する。
4. 発見した日から10日以内に発見した免許証を返納する。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

〔6〕 レーダー級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局の無線設備の操作の範囲は、次のどれか。

1. レーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作
2. レーダーで電波の質に影響を与えないものの技術操作
3. レーダーの外部の調整装置の技術操作
4. レーダーのすべての技術操作

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

法

規

〔7〕 無線局を運用する場合において、電波法の規定により、識別信号（呼出符号、呼出名称等をいう。）は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。

1. 免許証
2. 免許状
3. 無線局事項書
4. 無線局免許申請書

〔8〕 次の記述の 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び 、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 明解な無線機器仕様書
2. 免許人の氏名又は名称を証する書類
3. 無線従事者執務表
4. 無線検査簿

〔9〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 非常の場合の無線通信を行ったとき。

〔10〕 無線従事者が総務大臣から3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止されることがある場合は、次のどれか。

1. 電波法に違反したとき。
2. 免許証を失ったとき。
3. 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
4. 選任されている無線局が運用停止の処分を受けたとき。

〔11〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を報告する。
2. 再免許を申請する。
3. 免許状の訂正を受ける。
4. 直ちに届け出る。

〔12〕 無線局の免許がその効力を失ったとき、免許人であった者がその免許状についてとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 直ちに廃棄する。
2. 適当な時期に返送する。
3. 2年間保管する。
4. 1箇月以内に返納する。